

道徳科学習指導案

10月21日 5校時（2年1組教室）

第2学年1組（28名）

指導者 教諭 ■■■■■

1 主題名 よいことをすすんで 〈A 善悪の判断、自律、自由と責任〉

2 教材名 ぼんたとかんた（出典名 教育出版 小学道徳2 はばたこう明日へ）

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする道徳的価値について（価値観）

本教材は学習指導要領の「A 主として自分自身に関すること」の(1)「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと」に関わる教材である。人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、幼いときから徹底して身に付けていくべきものである。しかし、低学年は悪いことと知りつつも周囲に流されてしまったり、自分の弱さに負けてしまったりすることがある。行ってよいこと、行ってはならないことが区別できる力を養う。よいと思ったことは恐れずに勇気をもって行う。そして、自分で判断したことを実行したことで、「やってよかった」という喜びやすがすがしい気持ちになるということに気付かせたい。

(2)ねらいに関わる児童の実態について（児童観）

本学級の児童は素直に話を聞くことができる。学習や学校生活の中で成長したい、よりよくありたいと思っている児童も多い。好奇心旺盛で様々なことに挑戦し、前向きな学習態度である。2年生になって友達との関わりも増えてきた。「みんなと一緒に分かる。」「友達とやったらできた。」というように、友達と関わるよさを実感しながら生活している。

一方で「おもしろそうだったから」「みんなもやっていたから」という理由で、してはならないことをやってしまう児童も多い。担任や保護者がいないところや気持ちが高まってしまったときに自分を抑えることができず、衝動的に行動をしてしまう。落ち着いて振り返れば何が悪かったのか口にする事ができるが、自分の意思で「つられないで、やらなかった。」「自分で考えてよい行動ができた。」という経験が少ない。本時の学習を通して、自分で考えて、よい行動をするという意欲を高めたい。

(3)教材について（教材観）

本教材は、仲よしのかんたに禁じられている裏山での遊びを誘われる場面から始まる。かんたは、ぼんたを置いてどんどん裏山に行ってしまふ。ぼんたは、裏山には行ってはいけないことは分かっているが、誘われてしまいどうしたらよいのか悩んでしまふ。このようなことは児童の生活の中でも起こりうる場面設定であり、自分のこととして考えやすい教材である。まず、ぼんたがかんたに誘われて「じつと考えた」ことに着目させ、ぼんたがよく考えて自分で決めたことに気付かせる。つぎに、ぼんたが「ぼくは行かない。」と伝えたことで、かんたも自分で考え「行かない」ことを決め、最後は二人とも仲よく

ぶらんこに揺られている場面を確認する。ぶらんこに揺られている二人の気持ちについて考えさせ、自分で決めてよいことができよう気持ちになっていることに気付かせる。

主発問では、ぼんたとかんたのすばらしいところを考えさせる。そのことで、本時の主題である「正しい判断をするためにどうすればいいのか。」について考えを深めることを目指す。

4 校内研との関わり

〈研究主題〉児童の実態に応じた「考え、議論する道徳」

～児童の道徳的価値観に対する考え方、感じ方、生き方を善進させる授業づくり～

〈研究仮説〉道徳的価値に対する考え方や感じ方、生き方に迫ることのできる発問の工夫をすることや、児童の実態に応じた道徳の授業における議論の形を追究することで、児童が問題を自分事として捉え、善進し、正しい判断をする力が身に付くであろう。

本時の学習では、一人一人に心情メーター（心のメーター）で「行く」「行かない」の気持ちの強さを表現させる。メーターを動かしながら、よくないと分かっている、迷ってしまうことやよく考えることで正しい判断ができることに気付かせたい。一人ずつメーターを用意し、表現させることで、必然的に自分の考えを伝えられると考える。また、友達とメーターを比べることで対話が生まれると考える。本時では、気持ちの強さについては深く追求はせず、「行く」「行かない」どちらの気持ちもあって、主人公がよく考えたことに気付かせるツールとして捉える。（仮説の検証場面1）

展開の中盤では、登場人物のすばらしいところについて考える。ぼんただけでなく、かんたのすばらしいところも考えることで、どうしたら正しい判断ができるのか考えさせたい。最後は二人とも正しい判断ができたことやその後すっきりとしたさわやかな気持ちで遊んでいる場面に触れることで、自分たちの生活でもよく考えて正しい判断をすることへの意欲を高めたい。（仮説の検証場面2）

《授業における「善進」》

児童の実態から、まだ、よいことと悪いことを区別することが難しい児童は、「行く」「行かない」気持ちについて考えることを通して「行かない」ことが正しい判断であることに気付ければ善進とする。次の段階として、二人のすばらしいところ探しを通して、「正しい判断」をするためには「よく考える」「自分で決める」などが大切なことに気づき、考えを広めたり深めたりしたことを善進ととらえる。

《「心の引き出し」について》

授業における心の引き出しについて、次のように定義する。

- ・心の引き出しを「開く」…自分の考えを明らかにし、他者に伝える。
- ・心の引き出しを「増やす」…対話することで多面的・多角的な考えをもつ。
- ・心の引き出しを「選ぶ」…状況や立場に応じ、ふさわしいと思う考えを選ぶ。


本時の展開の中で、これらに該当する場面を設けるようにする。

5 本時の指導

(1)ねらい

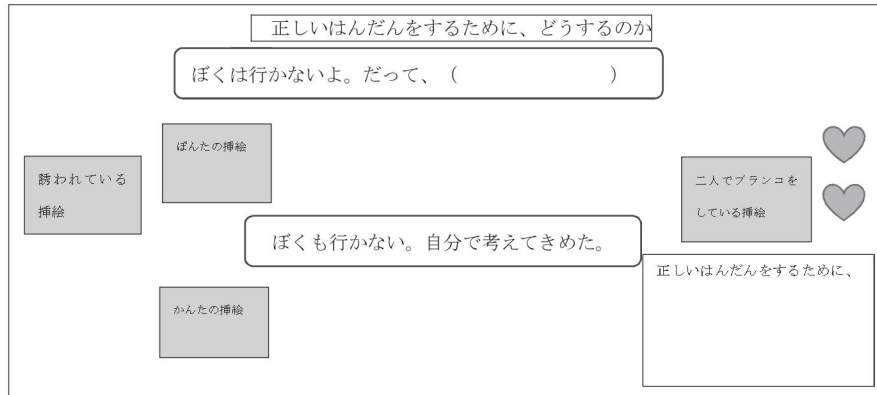
ぼんたとかんたの行動やその理由について考えることを通して、よいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。

(2)展 開

段階	学 習 活 動 (主な発問と児童の予想される反応)	指導上の留意点、指導の工夫、評価(☆)等
導 入 5 分	<p>1 アンケートをもとに、よくないと分かっているとしてもしてしまうことについて考える。 (補)正しい判断ができるか。</p> <p>・いつでもできる…○人 ・できる…○人 ・時々できない…○人 ・できない…○人</p> <p>2 今日、考えることを確認する。</p> <p>正しいはんだんをするために、どうするのか。</p>	<p>・事前にかんたに書かせたアンケートの結果を提示して共有する。</p> <p>・友達に誘われたり、友達がやっているのを見たりして児童が迷いそうな生活場面を話題にする。</p>
展 開 2 5 分	<p>3 資料の内容を確認する。</p> <p>【仮説の検証場面1】</p> <p>4 かんたにさそわれたときのぼんたの気持ちを考える。</p> <p>開く 増やす</p> <p>○ぼんたは何を考えただろう。</p> <p>「行かない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行っちゃダメだから。 ・けがをするかもしれない。 ・おこられる。 <p>「行きたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんたと遊ぶ約束をしている。 ・秘密基地に行ってみたい。 ・少しだったらだいじょうぶ。 	<p>・あらすじを捉えやすいように挿絵を提示しながら読む。</p> <p>・ぼんたが即決せずに「じっと考えた」ところを確認する。</p> <p>・「行きたい」と「行かない」のどちらの気持ちが強いかを心情円(心のメーター)で表現させてから、近くの友達と話し合わせる。</p> <p>・「行く」青色 ・「行かない」ピンク色</p> 
	<p>5 資料の内容を確認する。</p>	<p>・お話の展開を確認し、ぼんたが行かないと決めたこと、かんたも行かないと決めたこと、裏山には行かず二人で遊んだことを挿絵やキーワードを書いたカードで提示する。</p>

	<p>6 ぼんたに揺られている二人の気持ちを考える。 ○二人はどんな気持ちで遊んでいるのだろう。 ・うれしそう。 ・いいことをしているからもっと楽しい。 ・楽しそう。</p> <p>【仮説の検証場面2】</p> <p>7 ぼんたとかんたのしたすばらしいところを考える。</p> <p>○ぼんたとかんたのすばらしいところはどこでしょう。</p> <p>増やす</p> <p>ぼんた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく考えた。 ・自分の考えを伝えた。(よいと思ったことをしている) ・自分で決めた。 ・裏山に行かなかった。 <p>かんた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり行くのをやめた。 ・自分で考えた。 ・自分で決めた。 	<p>・秘密基地に行かなかったのに、楽しめたのか問い返す。</p>
	<p>8 本時のまとめと振り返りをする。 ○正しい判断をするためには、どうしたらよいかまとめよう。</p> <p>選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい判断するには、よく考える。 自分で決めて行動する。 先のことも考える。 <p>○今日の学習で気付いたことや分かったことを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も正しい判断ができるようによく考えたい。 ・正しい判断ができるとよい気持ちになれそう。 	<p>☆ぼんたとかんたのすばらしいところを見つけている。(発言・行動観察)</p> <p>・正しい判断ができたぼんたとかんたのしたことを参考にして、学習の振り返りをさせる。(ワークシート)</p> <p>☆本時の学習を振り返り、正しい判断をするためにどうしたらよいか自分なりの言葉でまとめている。(ワークシート)</p> <p>・友達の考えで「いいな」と思った考えを書かせるようにする。</p>

6 板書計画



7 アンケート

2年生 どうとくアンケート

ばん 名前 _____

① 正しいはんだんができますか。

1 できない 2 ときどきできない 3 できる 4 いつもできる

② 友だちにさそわれたり、友だちにつられたりして正しいはんだんができなかったことはありますか。
*よくないことわかっていて、やってしまうこと。

1 ある 2 ない

③ それはどんなときですか。